

平成 21 (2009) 年さけます来遊状況 (第 4 報 : 10 月 31 日現在)

独立行政法人水産総合研究センター
さけますセンター

8 月下旬から始まった北海道沿岸のサケ定置網漁業は終漁期を迎え、11 月以降における漁獲の中心は北海道南部や本州地域に移ることになります。

「さけます来遊状況」の第 4 回目として 10 月 31 日現在のカラフトマス及びサケの来遊状況についてお知らせします。

なお、速報の取りまとめにあたり、迅速な情報提供などにご協力を頂いた道県及び増殖団体の関係者に感謝いたします。

1 カラフトマス来遊状況 (今回で概要報告は終了します)

- ・ 来遊数は 1,113 万尾 (対前年同期比 161%) と前年を大幅に上回る状況
- ・ 地域別では、太平洋側で 59 万尾、日本海側で 1,053 万尾
- ・ 今年は豊漁年に当たり、前年と比較して 1 旬程度早い来遊

(北海道)

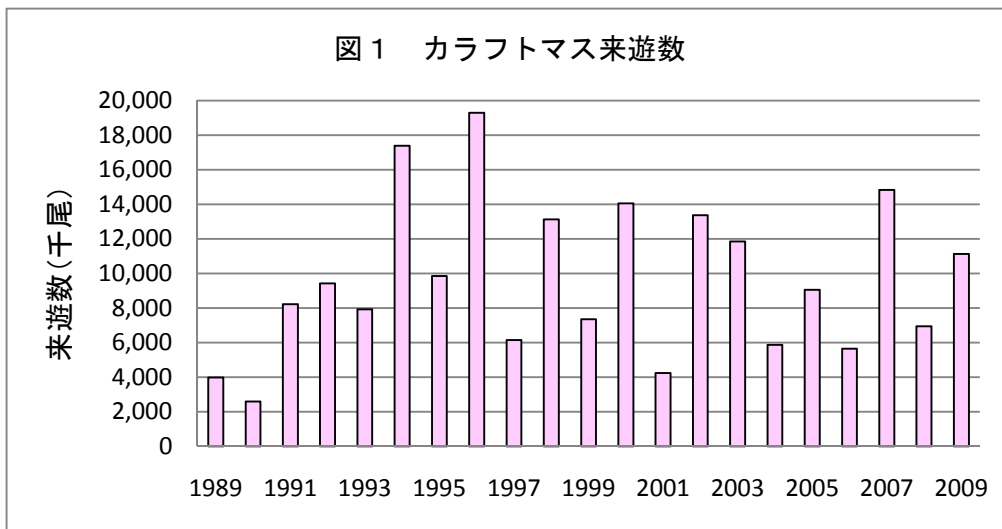
北海道のカラフトマスは各地域ともにほぼ終漁となっています。10 月 31 日現在における来遊数 (沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計) は 1,113 万尾 (対前年同期比 : 161%) と前年を大幅に上回る状況となっています (表 1)。これは、カラフトマスが隔年で資源変動する特徴があり (図 1)、今年、平成 21 (2009) 年が豊漁年に当たるためです。なお、来遊数について近年の豊漁年と比較すると、平成 17 (2005) 年より多いものの、平成 19 (2007) 年より少なく、対平年 (平成元(1989)年~20(2008)年の平均、以下同じ) 同期比では 114% を示し、豊漁年としてはまずまずの好漁となっています。

地域別では、太平洋側 (根室~えりも以西海区、以下同) で 59 万尾 (対前年同期比 : 134%)、日本海側 (オホーツク海区及び日本海区、以下同) で 1,053 万尾 (対前年同期比 : 162%) を示し、日本海側での増加割合が太平洋側と比べて大きくなっています。

表 1 : カラフトマス来遊状況 (北海道)

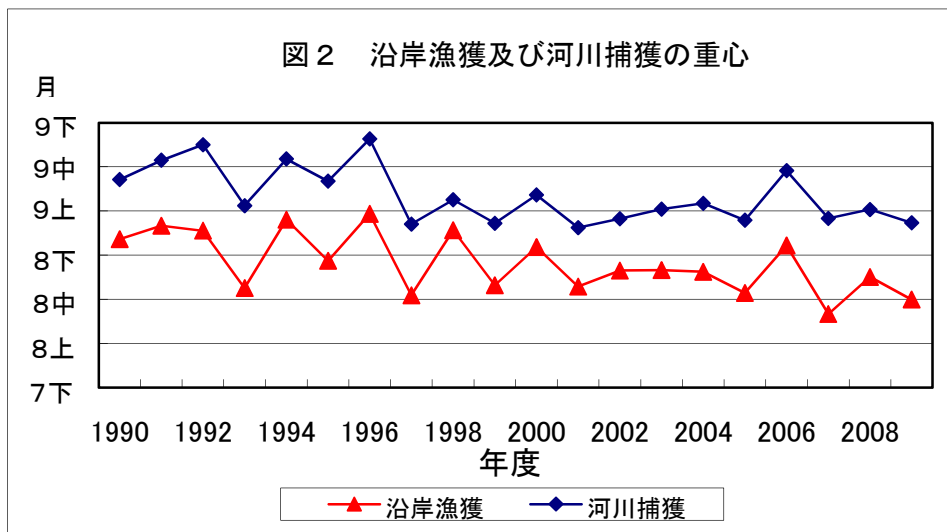
単位 : 万尾

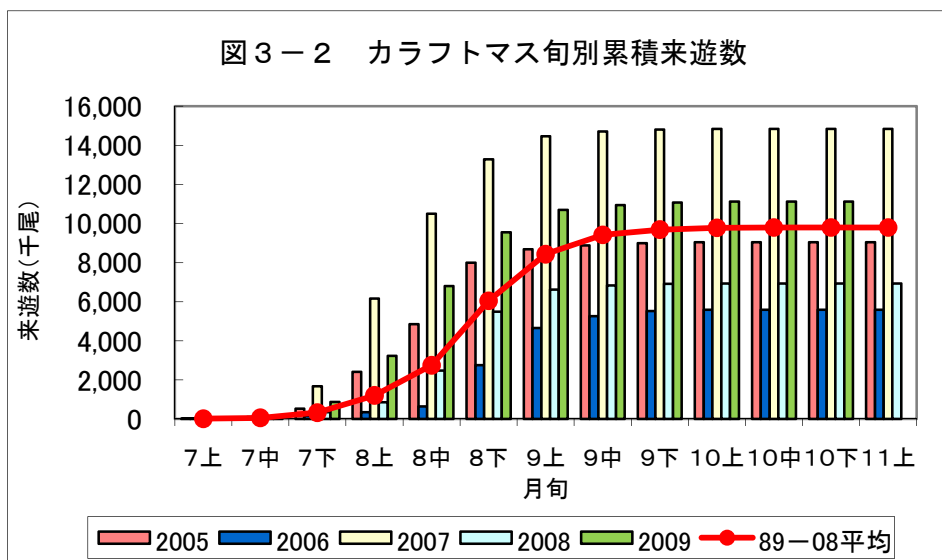
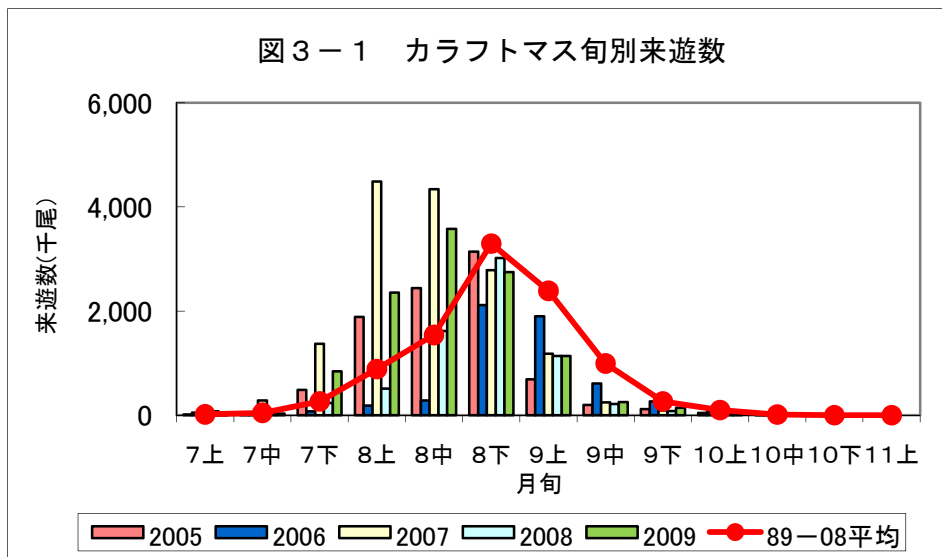
	来遊数	沿岸漁獲数	河川捕獲数
	最終	最終	最終
2009 (H21)	1,113	981	131
2008 (H20)	693	602	92
2007 (H19)	1,484	1,340	144
2006 (H18)	559	465	94
2005 (H17)	905	816	89
平年	980	881	99



注：平成 21(2009)年は 10 月 31 日現在。

一方、来遊時期は奇数年には早く、偶数年には遅くなる傾向があります(図 2)。今年は来遊時期が遅かった前年と比較して 1 旬程度早まる傾向を示し、沿岸漁獲及び河川捕獲のピークはそれぞれ 8 月中旬、8 月下旬～9 月上旬となっています(図 2、図 3-1、図 3-2)。





カラフトマスの河川捕獲数は、沿岸の好漁を反映して 131 万尾(対前年同期比：142%、対平年同期比：132%)と大幅に上回っており(表 1)、北海道全体では地域差が認められるものの、ふ化放流計画に必要な親魚を確保しています。

2 サケ来遊状況

- ・ 全国の来遊数は 4,719 万尾（対前年同期比 130%）と前年を大幅に上回る状況
- ・ 特に、北海道の来遊数は最終的に平年値の 4,702 万尾を越える展開
- ・ 11 月以降は盛漁期を迎える本州地域の来遊数増加に期待

（全国）

平成 21 年 10 月 31 日現在のサケ来遊数（沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計）は 4,719 万尾（対前年同期比：130%）と前年を大幅に上回っていますが、対平年同期比では 101%と平年並みとなっています。（表 2）。

表 2：全国のサケ来遊数 単位：万尾

	10/31 現在	最終
2009（H21）	4,719	-
2008（H20）	3,629	5,290
2007（H19）	5,205	6,813
2006（H18）	5,322	6,832
2005（H17）	5,723	7,088
平年	4,691	6,402

（北海道）

北海道のサケ来遊数は 4,372 万尾（対前年同期比：130%）と前年を大幅に上回っていますが、対平年同期比では 103%と平年並みとなっています。（表 3、図 4-1、4-2）

地域別では、太平洋側（根室～えりも以西海区）で 2,319 万尾（対前年同期比：117%、対平年同期比：93%）、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）で 2,053 万尾（対前年同期比：147%、対平年同期比：117%）と両地域ともに前年を上回っていますが、太平洋で平年値を若干下回っている一方、日本海側では平年値を上回っています（表 3）。

今後の見込みとして、11 月の来遊主群となる 2005 年級の後期（2005 年 11 月中旬以降に採卵受精した種苗）放流割合は北海道全体で 20%程度を占めていること、平年でも 11 月以降 450 万尾程度の来遊があること等から、北海道における来遊数は最終的に平年値の 4,702 万尾を越える展開になるものと推定されます。

表3：北海道のサケ来遊数

単位：万尾

	北海道		北海道太平洋		北海道日本海	
	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終
2009 (H21)	4,372	-	2,319	-	2,053	-
2008 (H20)	3,371	3,871	1,977	2,364	1,394	1,507
2007 (H19)	4,808	5,278	2,883	3,241	1,926	2,038
2006 (H18)	4,915	5,359	2,455	2,807	2,459	2,553
2005 (H17)	5,303	5,641	2,860	3,144	2,443	2,497
平年	4,242	4,702	2,483	2,857	1,759	1,845

図4-1 旬別サケ来遊数(北海道)

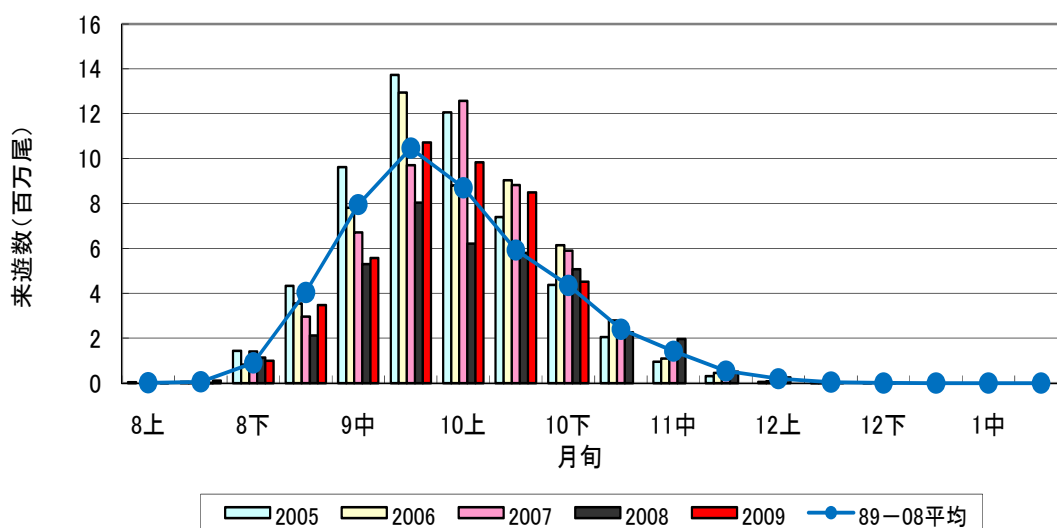
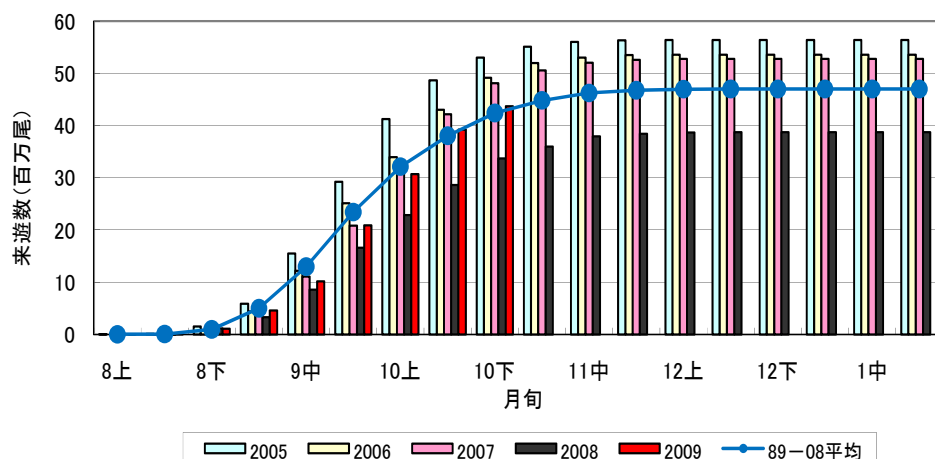


図4-2 サケ来遊数(累計:北海道)



(本州)

本州のサケ来遊数は 347 万尾（対前年同期比：134%、対平年同期比：77%）を示しています（表 4、図 5-1、5-2）。地域別では、太平洋側（竜飛岬から東の青森県～茨城県）の地域で 312 万尾（対前年同期比：127%、対平年同期比：74%）、日本海側（竜飛岬から西の青森県～石川県）の地域で 35 万尾（対前年同期比：269%、対平年同期比：135%）と、いずれの地域とも前年を大幅に上回っており、特に、日本海側では平年値を大幅に上回っています。

本州では 11 月以降に盛漁期を迎えますが、10 月までの来遊状況を見る限り、北海道と同様に前年を大幅に上回ることで来遊数が期待されます。

表 4：本州のサケ来遊数

単位：万尾

	本 州		本州太平洋		本州日本海	
	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終
2009 (H21)	347	-	312	-	35	-
2008 (H20)	259	1,419	245	1,359	13	60
2007 (H19)	397	1,535	370	1,444	27	91
2006 (H18)	407	1,472	368	1,348	39	125
2005 (H17)	419	1,447	381	1,328	38	119
平年	450	1,700	424	1,626	26	74

図5-1 旬別サケ来遊数(本州)

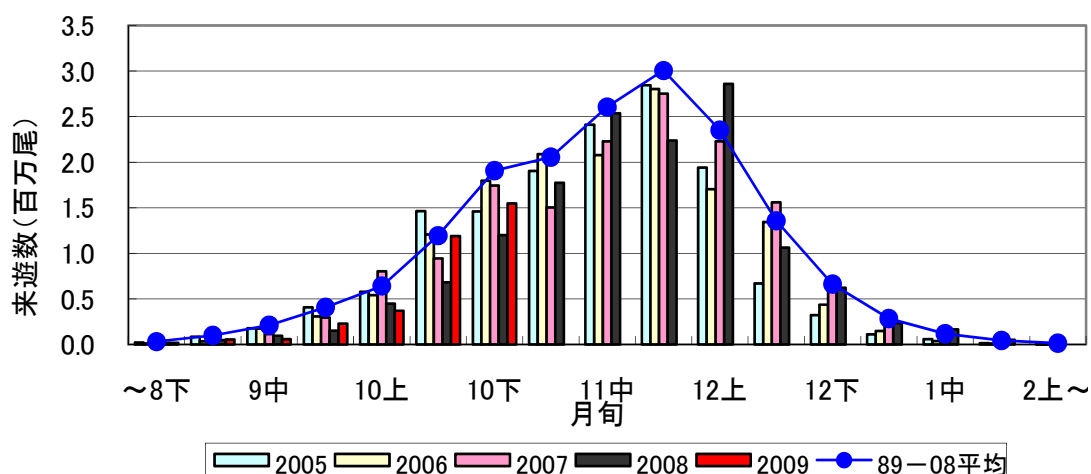
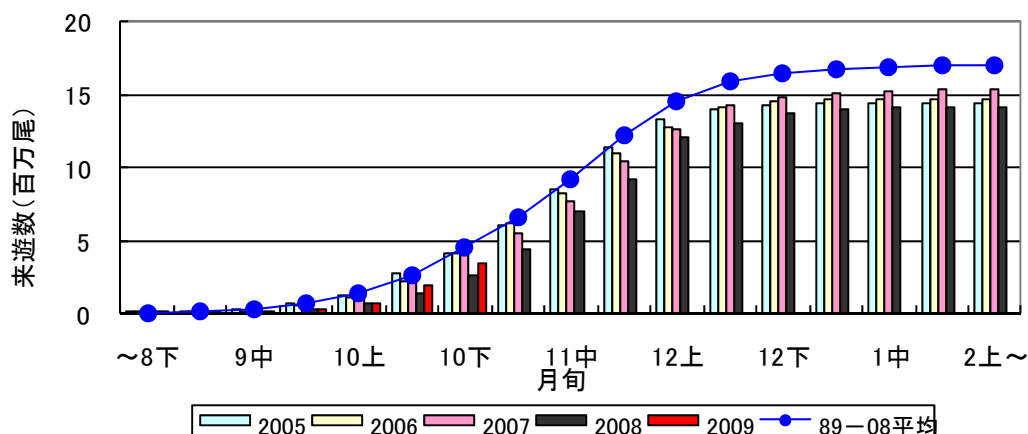


図5-2 サケ来遊数(累計:本州)



3 サケ河川捕獲状況

- ・河川捕獲数は 229 万尾（対前年同期比：126%）と前年を上回り、特に日本海側では本州、北海道とも大幅に増加
- ・採卵数は 9 億 66 百万粒（対前年同期比：114%）と前年を上回る状況

(全国)

平成 21 年 10 月 31 日現在のサケ河川捕獲数（全国の河川で人工ふ化放流用に捕獲されたサケ数）は 229 万尾（対前年同期比：126%）と前年を上回っています。（表 5）。

また、採卵数も 9 億 66 百万粒（対前年同期比：114%）と前年を上回る状況となっています。

表 5：全国のサケ河川捕獲数

	河川捕獲数（万尾）	
	10/31 現在	最終
2009 (H21)	229	-
2008 (H20)	182	393
2007 (H19)	303	591
2006 (H18)	344	618
2005 (H17)	391	644
平年	293	485

(北海道)

北海道の河川捕獲数は187万尾（対前年同期比：123%、対平年同期比：76%）と平年値を下回るものの、前年を上回る状況となっています（表6、図6-1、6-2）。特に、日本海側では104万尾（対前年同期比：139%）と前年を大幅に上回っています。これは第3報(9月30日現在)でお知らせしましたが、9月に日本海の中・南部地区で行われた採卵用親魚を確保するための定置網漁業の自主規制の効果が現れたものです。

しかし、太平洋側の根室海区では捕獲数が少なかった前年と同程度の水準にとどまっています。

このように一部の地域で油断できない状況が見られ、漁業関係者や民間増殖関係者は、沿岸漁獲及び河川捕獲の状況を注視しながら中期以降(10月下旬以降に採卵受精した種苗)の親魚確保に努めているところです。

表6：北海道のサケ河川捕獲数

単位：万尾

	北海道		北海道太平洋		北海道日本海	
	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終
2009 (H21)	187	-	83	-	104	
2008 (H20)	152	217	77	109	75	108
2007 (H19)	256	326	114	155	142	171
2006 (H18)	287	378	112	163	174	215
2005 (H17)	324	385	113	152	211	233
平年	247	310	110	148	137	162

図6-1 旬別サケ河川捕獲数(北海道)

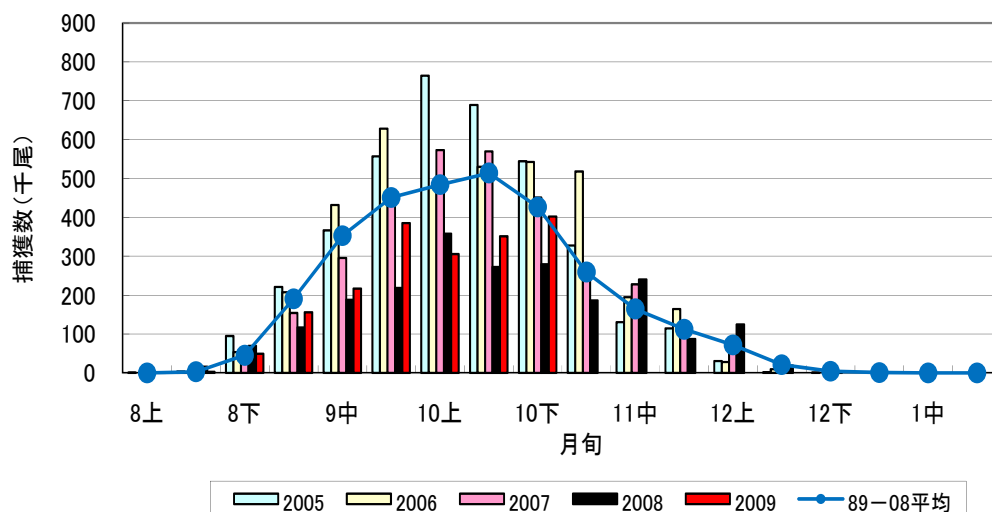
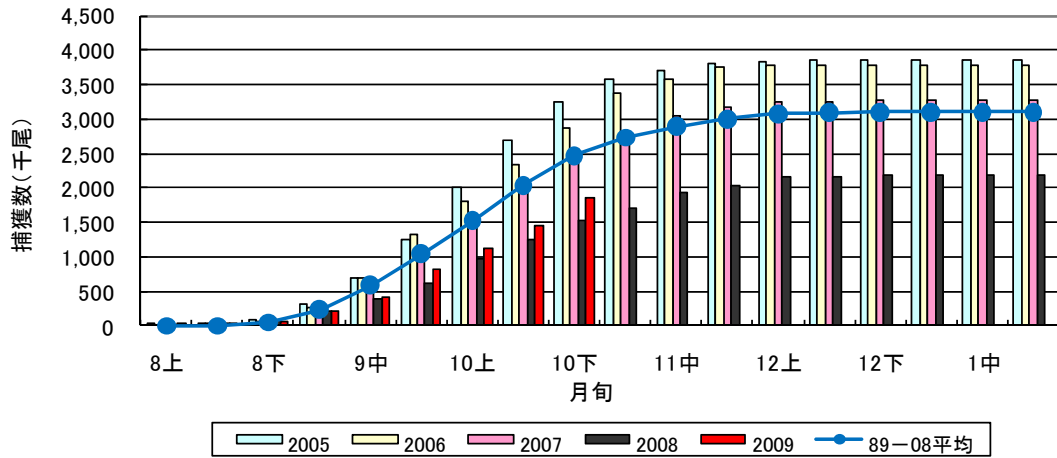


図6-2 サケ河川捕獲数(累積:北海道)



(本州)

本州の河川捕獲数は 42 万尾（対前年同期比：135%）と前年を大幅に上回る状況となっています（表 7、図 7-1、7-2）。地域別では、太平洋側で 31 万尾（対前年同期比：115%）、日本海側で 11 万尾（対前年同期比：275%）と日本海側で著しく増加しています。

一方、平年値と比較してみると、本州全体では 91%にとどまっています。地域別では、太平洋側で 84%と平年値を下回っているものの、日本海側で 110%と平年値を上回っています。

11 月以降に河川捕獲が本格化する本州各県においては、ふ化放流に必要な種卵を計画的に採卵するため、自県における沿岸漁獲及び河川捕獲の状況を的確に把握するとともに、近隣県と情報交換を行いながら親魚確保に努める必要があります。

表 7：本州のサケ河川捕獲数

単位：万尾

	本 州		本州太平洋		本州日本海	
	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終	10/31 現在	最終
2009 (H21)	42	-	31	-	11	-
2008 (H20)	31	176	27	150	4	26
2007 (H19)	47	265	38	219	9	45
2006 (H18)	57	240	43	185	13	55
2005 (H17)	67	259	52	206	15	53
平年	46	175	37	142	10	33

图7-1 旬別サケ河川捕獲数(本州)

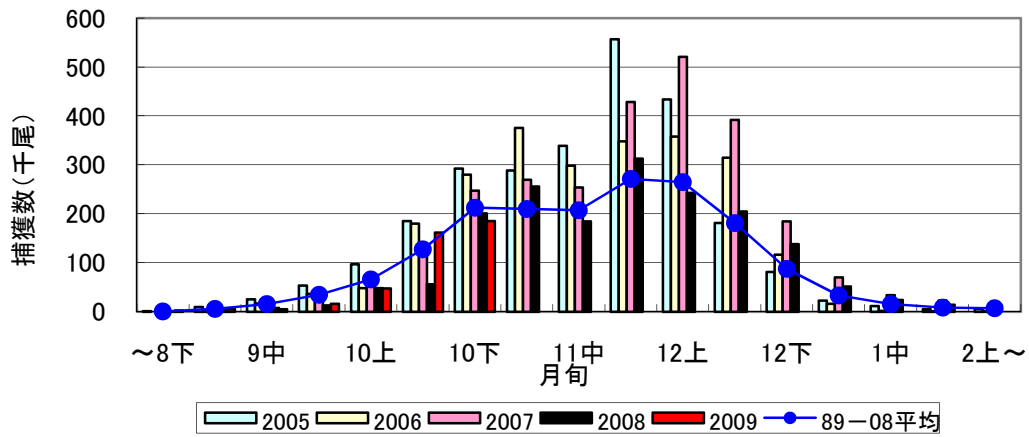
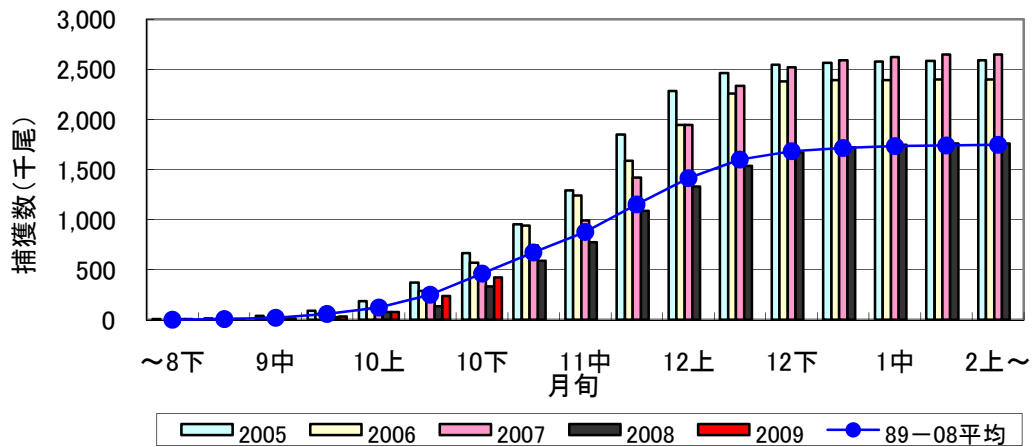


图7-2 サケ河川捕獲数(累積:本州)



4 サケの年齢構成

・10月末現在で平年と比較して、3年魚(2006年級)は多く、4年魚(2005年級)はほぼ平年並み。昨年との比較では4年魚が多い。

これまでに北海道立水産孵化場とさけますセンターが北海道の代表的な河川に回帰したサケの年齢構成を調査した結果によると、平年値と比較して3年魚が多く、4年魚は平年並みとなっており、前年との比較では4年魚が多くなっています(図8-1、8-2)。

サケの旬別年齢割合は、5年魚や6年魚は早い時期に回帰し、3年魚や4年魚は時期が進むにつれて比率が高くなっていく傾向があります(図9)。すでに来遊のピークを過ぎていることを考慮すると、今年は4年魚の回帰が多くなることはほぼ間違いないものと思われます。

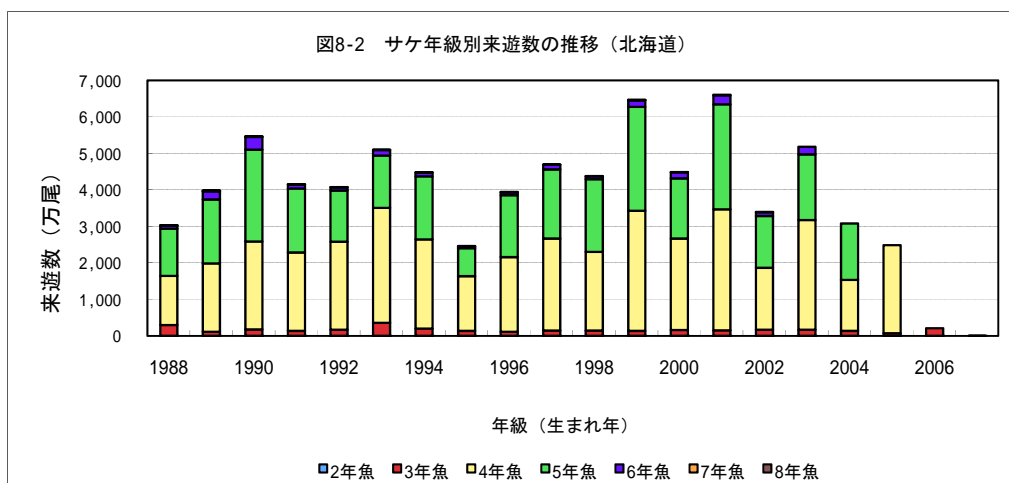
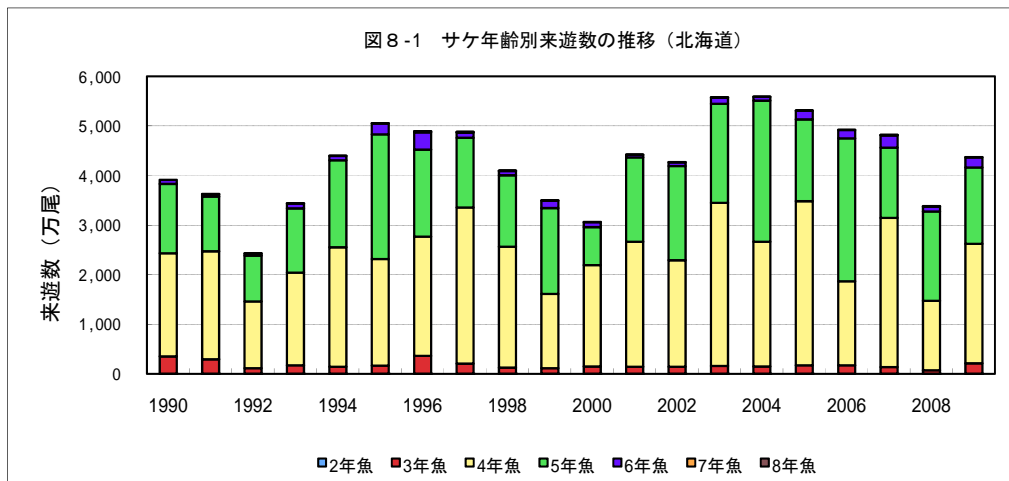
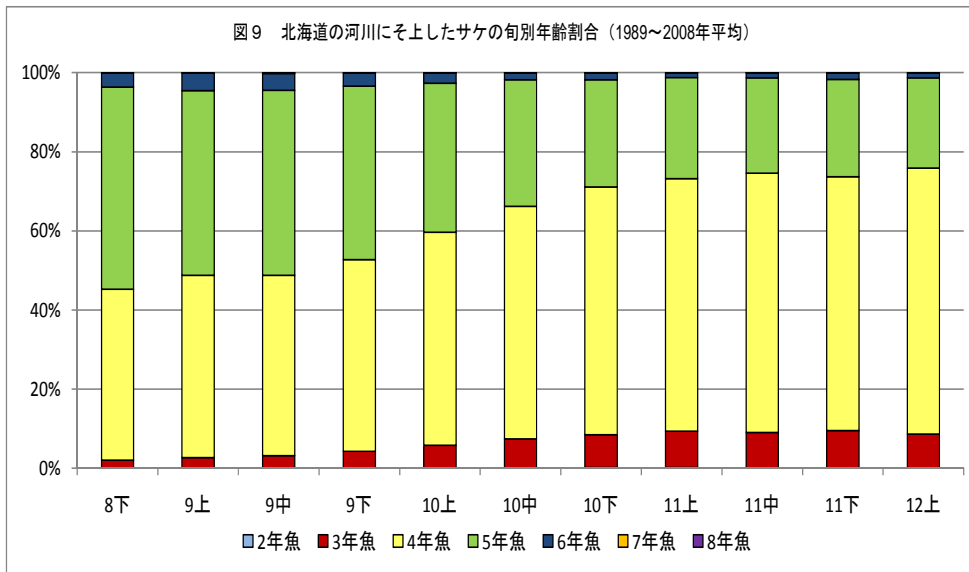


図9 北海道の河川にそしたサケの旬別年齢割合（1989～2008年平均）

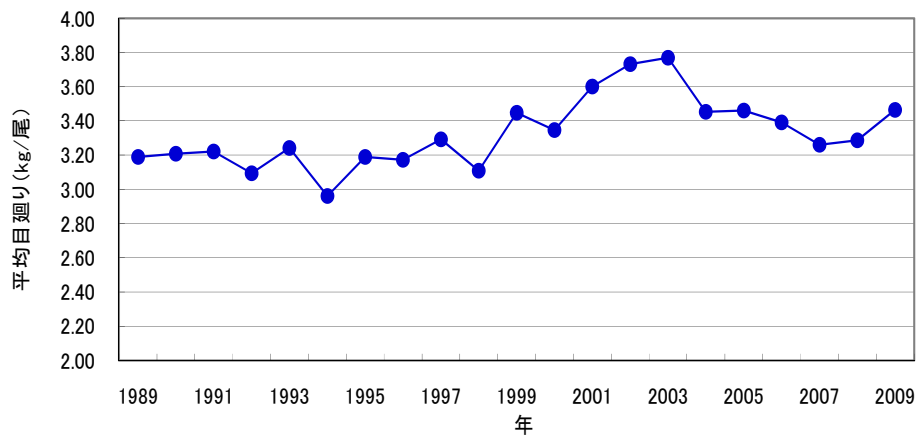


5 サケの体サイズ

・1尾当たりの平均体重は北海道、本州ともに前年をやや上回る状況

平成21年10月31日現在におけるサケの漁獲数と漁獲量から求めた1尾当たりの平均体重は、全国では3.46kg（前年同期：3.31kg）、地域別で見ると北海道では3.49kg（前年同期：3.33kg）、本州では3.08kg（前年同期：3.00kg）を示し、前年をやや上回る状況となっています（図10）。

図10 サケ平均目廻り(全国)



6 北日本の海況

気象庁における「海洋の健康診断表」によると、北海道周辺・日本東方海域の海面水温は、以下のようになっています。

10月9日発表より

http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/archive/2009/10_1/hakodate_sst/hakodate_sst.html

10月上旬の北海道周辺・日本東方海域の海面水温は、9月下旬に比べ平年より高い海域が広がりました。特に、日本海北部、オホーツク海南部では、平年より1℃以上高い海域が広がりました。一方、宮城県沖と常磐沖には、海面水温が平年より2℃以上低い海域がみられます。

10月20日発表より

http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/archive/2009/10_2/hakodate_sst/hakodate_sst.html

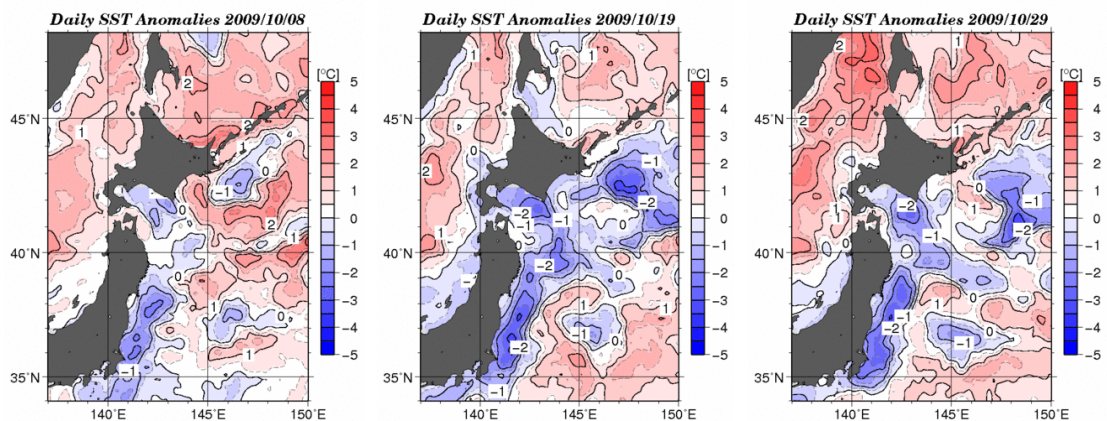
北海道周辺・日本東方海域では、10月上旬に比べて海面水温が平年より低い海域が広がりました。日高沖から三陸沖、常磐沖にかけて海面水温が平年より2℃以上低い海域がみられます。また北海道東方にも平年より2℃以上低い海域がみられます。

一方、日本海北部では海面水温が平年より2℃以上高い海域がみられます。オホーツク海南部では、10月上旬に比べて海面水温が平年より1℃以上高い海域が縮小しました。

10月30日発表より

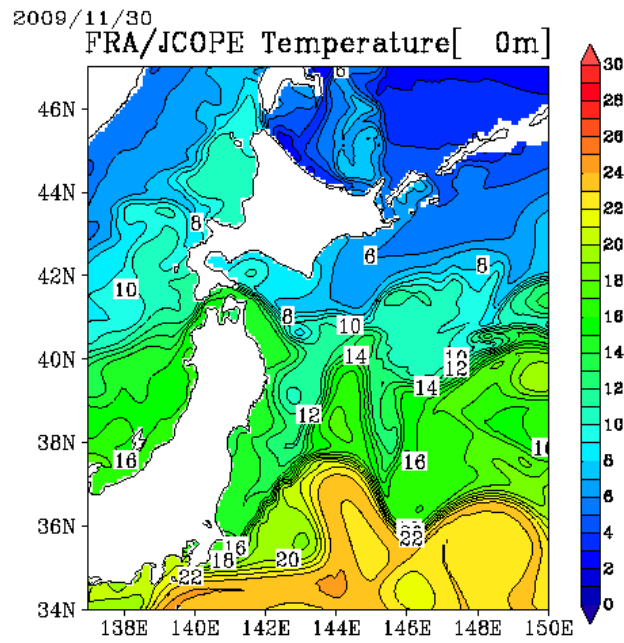
http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/archive/2009/10_3/hakodate_sst/hakodate_sst.html

北海道周辺・日本東方海域では、10月中旬に比べ海面水温が平年より高い海域が広がりました。釧路沖に海面水温が平年より1℃以上高い海域が現れました。また、日本海北部およびオホーツク海南部では、10月中旬と比べて海面水温が平年より2℃以上高い海域が広がりました。一方、10月中旬に引き続き日高沖から三陸沖、常磐沖にかけて海面水温が平年より2℃以上低い海域がみられます。

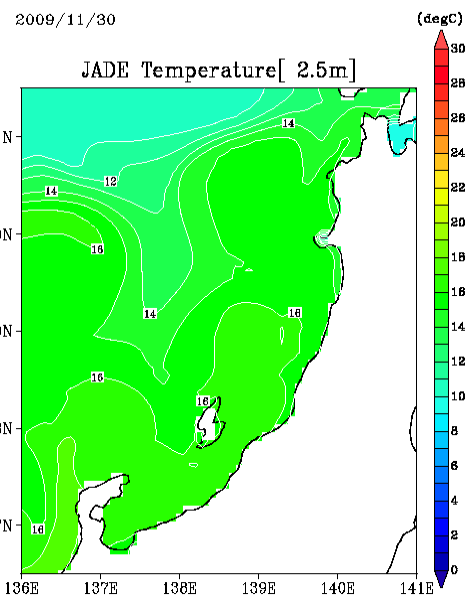
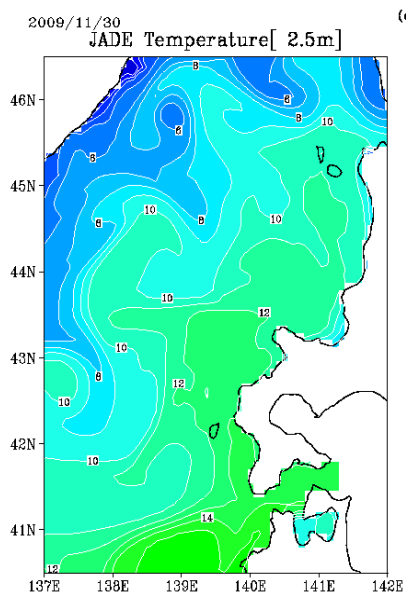


出典：気象庁 HP (http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/e_1/e_1.html)

なお、水産総合研究センターの「太平洋および我が国周辺の海況予測モデル (FRA-JCOPE)」 「日本海海況予測モデル (JADE)」では、北海道・東北ブロックおよび日本海の海況と2ヶ月間の予測を公開しており、一般の方も次の内容がご覧になれます。



(FRA-JCOPE) <http://ben.nrifs.affrc.go.jp/>



(JADE) <http://jade.dc.affrc.go.jp/jade/>